

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

習ったこと1つ1つを心に刻んで…

プロ野球選手から学ぶ おおぎみ野球っ子夢応援プロジェクト



5月8日（日）、大宜味小・中学校のグラウンドにおいて福岡ソフトバンクホークスOBの新垣渚さん、大野倫さん、吉村裕基さんを講師に「おおぎみ野球っ子夢応援プロジェクト！」（主催：大宜味中野球部、大宜味結 Guts 両保護者会、特別協賛：沖縄三和シヤッター株式会社）が開催されました。

プロ野球OBという一流人材からの応援をいただき、小さな村から大きな夢を抱くおおぎみっ子に野球を通して夢実現への糧になることを願い開かれた今回の野球教室。

守備の基本となるキャッチボールでは一球一球意識し、投げる側も受ける側も相手のことを考えたキャッチボールを心掛けることを学び、意識して「投げる」、「受ける」を継続することでコントロールが良くなってくると教わりました。

キャッチボール後、ピッチング、バッティング、守備に分かれ、新垣さん、大野さん、吉村さんから指導を受けました。

指導後はサバイバルノック。各グループで勝ち抜いた9名が大野さん、吉村さんから直接ノックを受け、その中で勝ち抜いた4名に講師のサインボールが手渡されました。

そして最後まで残った、5年生の濱元大晴くん、中学校2年生の福地楽偉門くんが新垣選手に打チャレンジ。新垣さんの球に挑んだ大晴くんは「球が速かった。怖かったけど楽しかった」と話し、ファウルにはなったものの、豪速球を当てに食らいつきライト方向へ場外ファウルへ飛ばした楽偉門くんは「最高の球だった。球の伸び感を感じた」と喜びました。

野球教室を終え新垣さんは「今日習ったことを1つでもいいから覚えて欲しい。技術だけでなく道具や仲間も大切にすること。この中からプロ野球選手になってくれる人がいると嬉しい。一人でも多くプロを目指して。夢を大きく持って欲しい」とエールを送りました。

大宜味ジュニアの活躍

5月14日（土）、沖縄県総合運動公園レクレーションドームにおいて行われた第39回全日本小学生大会沖縄県予選大会に大宜味ジュニアの選手が出場し、素晴らしい成績を収めました。

成績は右の通りです。

日頃の練習の成果の賜物です。

大宜味ジュニアのみなさん、おめでとうございます！

経験者の部

男子シングルス

- 優勝 我那覇歩（奥間小6年）
- 準優勝 平良太誠（5年）
- 3位 高良凌平（5年）
- 4位 前田泰那（5年）

→左から歩さん
太誠さん、凌平さん

初心者の部

女子ダブルス

- 3位 前田菜雪（4年）・吉濱心乃華（4年）ペア
- 4位 上地琴子（3年）・金城 咲那（3年）ペア

☆大宜味ジュニアの結果☆

女子シングルス



↓心乃華さん
菜雪さん↓



おおぎみ野球っ子夢応援プロジェクト！練習、サバイバルノックの様子

バッティング



手首をすぐに戻さない
ボールが来る3つ前くらいに振る
下半身を使う 体重移動が大事

守備



ボールを捕る時は下ではなく前を見る
捕球したらステップしてから投げる
フライが上がったらグローブは腰の位置に構える、キャッチするときに出す

ピッチング



自分オリジナルのフォームを作る
キャッチャーを見る 目標を確認
コントロールにはイメージが大切

サバイバルノック



どんな球にも食らいつく！
ガッツで一番最後まで勝ち残った大晴くん

新垣選手に挑戦！



新垣投手の球に挑む楽偉門くん、豪速球に見事当てる！！

村の魅力を新発見！？ 地域に学ぶ 大宜味中1年生 地域めぐり

津波のビーチロック



5月25日（水）大宜味中学校1年生が総合の学習で大宜味村の史跡などをめぐる「地域めぐり」を行いました。

大宜味中では、今年度村指定を受けて、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域教育資源を生かした特色ある教育活動のための教育課程の改善に取り組んでいます。

今回、教育委員会村史編纂係長の宮城光一さんに案内をしてもらいながら、今年4月に村の文化財に指定された津波のビーチロックを始め、喜如嘉貝塚、喜如嘉の板干瀬、根謝銘グスク、大宜味村役場旧庁舎、大宜味御嶽のピロウ群落、塩屋湾のウンガミ、塩屋の共同墓・ウフンチャのハスノハギリ、屋古の栽培漁場開拓湾の碑、田港御嶽、江洲を1日かけて巡り、魅力ある地域の文化財や史跡を学びました。

地域めぐりを終え、宮城優さんは「大宜味村のことでも知らないことがたくさんあった。今回教えてもらったことを覚えて今後に活かしたい。丁寧に教えてくれてありがとうございます」と感謝。

喜如嘉の板干瀬



根謝銘グスク



光一さんは「今日見たところ以外にも大宜味村には魅力的な所、楽しい所がまだまだある。自分たちで勉強して探してみたい」と話しました。

今回の地域めぐりで疑問に思ったことやもっと知りたいことなどを自分たちで調べ、学び、村についての興味関心をさらに深めてください。

大宜味村役場旧庁舎



ウフンチャのハスノハギリ



江洲の開拓の碑



生きる力はつながる力 令和4年度学力向上推進委員会総会・教育講演会

5月19日（木）、大宜味小学校多目的室において大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会が開催されました。

総会では学推事務局から令和3年度事業経過及び成果と課題が報告され、学習支援部会、社会力育成部会、学推事務局からそれぞれ令和4年度の学推活動計画が提案されました。

今年度もコロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小しての開催となりました。

総会後には講師に公認心理士上級教育カウンセラーで北谷町教育委員会スクールソーシャルワーカーの仲村将義先生を招き『生きる力』って何？』クマと人の話と「学校で学ぶ意味」～と題した講演会が開かれました。

アイスブレイクやクイズを交えながら始まった仲村先生の講演会。受講者たちは2人1組となり「なぜ学校で勉強しないといけないのか」子ども役の相手に納得できるように説明する、相手のいい所を伝える、おりあいをつけて自分のお願いや意見を伝えるなど様々なワークショップを体験しました。

仲村先生は「生きる力はつながる力。つながる力をつけるためには『人』、『自分』、『役割』、『知識』とつながる力をつける練習が必要。学校に行くことでその練習ができる」と話し、まずはあいさつから始めようと言いました。



大宜味っ子たちに役立てて… ヒサシ自動車より図書費寄贈

5月10日（火）、大宜味小・中学校に有限会社ヒサシ自動車の知念代表取締役が訪れ、小学校、中学校に図書費を寄贈しました。

ヒサシ自動車が北部の学校に寄付をするのは今回で10回目。大宜味村に縁があり、大宜味海人～のメンバーでもある知念さんは自然もやんばるも大宜味も大好きだと話し、ぜひ大宜味村の子どもたちに貢献したいという思いから、学校への寄贈となりました。



知念さんは「もともと英語力をつけてほしいと学校の図書室に英語の本を寄贈していた。最近では学校に任せている。子どもたちのためになるよう活用していただけると嬉しい」と思いを伝えました。

大宜味小の新垣郁代校長先生は「大型絵本を購入したい。子どもたちも楽しみにしているはず」と喜び、大宜味中の具志堅仁一校長先生は「最近若者の読書離れが進んでいると言われている。生徒たちの興味ある本を揃えて活用していきたい」と話しました。

大宜味小・中学校のみなさん、楽しみにしてください。

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第4回 教育委員会会議 令和4年5月2日（月）午後2時5分 開催

＜審議事項＞

- 報告第5号 大宜味村社会教育委員の委嘱について 《報告》
- 報告第6号 大宜味村社会教育委員会事務点検評価委員の委嘱について 《報告》
- 報告第7号 大宜味村文化財の指定について 《報告》
- 議案第11号 大宜味村スポーツ推進委員の委嘱について 《原案可決》

図書室情報 No.34 2022年（令和4年）6月 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内） 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

利用状況累計

- 来室者数…のべ 1,675人
- 貸出冊数…3,054冊
- 登録者数…124人

5月の統計（5/26まで）

- 来室者数…のべ 80人
- 貸出冊数…267冊
- 現在の蔵書数…6,556冊

6月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

来室の際はマスクの着用、手指の消毒、できるだけ少人数でのご利用をお願いします。体調の優れない方は来室を控えてください。

新着本



5/20 雨の日の遠足 おおぎみこども園のこどもたちが 図書室へ来室♪ またきてね★



ウミガメの来る浜をきれいに… 令和4年度わんぱく体験団 第1弾「ビーチクリーン&クラフト」

5月21日（土）、令和4年度わんぱく体験団第1弾「ビーチクリーン&クラフト」が開催されました。今年度もコロナウイルス感染拡大防止のため5・6年生だけの団員を集め規模縮小で始まったわんぱく。毎年ウミガメが産卵に来る大宜味村の浜。今回はウミガメを迎え入れるためにビーチクリーン（海岸清掃）をし、拾ってきたごみを使ってアート作品を作ります。まずは、うみがーみーこと米須教育長から大宜味のウミガメについて学び、喜如嘉の浜へGo！ペットボトルやうき、プラスチックごみなどを始め、作品に使えるサングラス、シーグラス、木の実なども拾います。



活動日はずっと雨の予報でしたが、何とか天気もちそれだけでもラッキーと思っていたのに、さらに嬉しいことが…。なんと前日の夜に喜如嘉の浜にアカウミガメが産卵しており、アカウミガメの足跡や産卵の跡、さらに卵を確認することができました。みんなの日ごろの行いが良かったのでしょうか。嬉しいサプライズです。＊ウミガメの卵は特別な許可を得た人（教育長・倉持）が調査のため、採取できます。もし、浜でウミガメの産卵地を見つけても掘り起こさないでください。



足跡の付き方からカメの種類を判断します



卵を採取し大きさ計ってカメの種類をもう一度確認

浜から戻ってきたら、拾ってきたものを洗い、乾かしたら、いよいよクラフト作業。

ダンボールに拾ってきたものを貼り付けて絵を作っていきます。

シーグラスを使ってウミガメや恐竜を作る団員もいれば、ヤシの実やサンダル、発泡スチロールを使って独創的な巨大アートを作る団員も…。一人一人の個性が光る素敵な作品が仕上がりました。

今回作った作品は10月に開催されるおおぎみ展で展示する予定です。楽しみにしてください。



個性とセンスを光らせてアートづくり開始！

『大宜味村史 人と自然編』
第2章 シマジマの自然と暮らしから

子ども達の人気者「オキナワキノボリトカゲ」について紹介
します。いかつい外見のせいか、大宜味村では唐辛子に因ん
だ方言名が多く、口に唐辛子を突っ込まれ、尻尾をもって振

り回され、踏んだり蹴ったりの何ともかわいそうなトカゲです。

※田嘉里（嘉）、謝名城（謝）、喜如嘉（喜）、饒波（饒）、大兼久（兼）、根路銘（根）、上原（上）、塩屋（塩）、屋古（屋）、田港（港）、
押川（押）、大保（保）、宮城（宮）、江洲（江）、津波（津）。一は回答なし。

オキナワキノボリトカゲ（方言／利用又は関わり）

嘉：タンポー、タンポー／木から木に跳び移る。尻尾をつかんで振り回して遊
んだ。

謝：タンポー、タンポー／（普通は食べないが）戦争中に避難してきた人が食
べたと思う。

喜：コーレーグスクエー／子供達が捕まえて唐辛子を口に入れたりして遊んだ。

饒：パンパンガルー／子供の頃に尻尾をつかまえて逆さにしたりタバコを吸
わせたりしてガンマリ（いたずら）して遊んだ。

兼： — / いっぱいたが今は全く見かけない。捕まえてよく遊んだ。

根：ヤマザルー／捕まえてコーレーグスー（唐辛子）を潰して口に突っ込
んで、パツラゲー（七転八倒してもがき苦しむ様）させて遊んだ。死に
はしなかった。尻尾の先をつかむと口が届かないので咬みつかない。

上：コーレーグスクエー／トンガラシ（唐辛子）を食べさせていたずらして遊
んだ。

塩：ホーレーグスクエー、コーレーグスクエー／猫がよく捕まえて来る。あまり捕まえて遊んだり
はしなかった。

屋：ヘーレーグスクエー／咬まれても痛くなかったがあまり遊ばなかった。

港：カラスクエー、カラスクエー、コーレーグスクエー／カラスは唐辛子のこと。口の中に唐辛子を突っ
込んで遊んだ。

押：コーレーグスクエー／ミカン畑によくいる。子供の頃にコーレーグスーを口にいっぱい突っ込んで遊んだ。

保：コーレーグス / —

宮：コーレーグスクエー／よくいる。子供の頃に捕まえて遊んだりはしなかった。

江：コーレーグスクエー／男の子が尻尾をつかまえて遊んだ。

津：ヘーラグスケー／山にしかいない。男の子がこれで遊んだ。ナマリムン（ひょうきん者）が尻尾をつか
まえてわざと女の子の所に持ってきて怖がらせた。人間もお腹の調子が悪いとき等は唐辛子を食べると
いいといわれた。



他の市町村では…

与那原 アタク（当添・板良敷・江口・港・中島・新島・森下・浜田・与原・上与那原・与那原）、
コーレーグスクエー（大見武）（『与那原町史 与那原人と自然』2022年）

宜野湾 ヤマトッカー（宜野湾）、アタク（神山）、アタカー（神山・嘉数・我如古）、キーアタカー（安仁屋）、
アントッカー（大山）、アンタカー（宇地泊）、タンタカー（真志喜）、コーレーアタカー（喜友名・伊佐）、
コーレークエー（野嵩・普天間・安仁屋・新城）、カラークエー（大謝名）（『宜野湾市史 自然とヒト』2003年）

南風原 アタク（与那覇・津華山）、ウーアタカー（山川）、コーレーグス（兼城）、コーレーグスクエー（宮城）、
ジューミー（宮平）、ソーゾーミーヤ（神里）（『南風原町史 自然・地理資料編』1997年）

渡名喜 クフワタンメー（『沖縄渡名喜方言辞典』2021年）

浦添 キーナカジュ、マーチャー（雄）、テンブー（雌）（浦添大公園友の会ホームページ）

宮古島 ヤマイン（※サキシマキノボリトカゲ）（『宮古島史 みやこの自然』2019年）



村史編さんだより

第134号 2022年6月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

「写真集」専門部会を開催しました

5/11（水）第1回 大宜味村史「写真集」専門部会会議を行いました。

会議は委嘱状交付からはじまり、発刊スケジュールの確認、事務局が作成した目次案の説明、各字から提供された写真や村史で収集した写真などを見てもらいながら、意見を出し合い合いました。専門部会の皆さんは長年地域に深く関わり研究をしておられるため、専門知識はもちろんのごと様々な情報をもっているの、とても心強い存在です。これから1年間よろしくお願ひします。

なお、「写真集」以降も、令和6年度までに「通史編」「資料編」「普及版」の発刊を予定しており、かなりタイトなスケジュールになっていますが、時間を有効に使い見応えのある写真集が発刊できるように頑張っていきたいと思ひます。

★「写真集」専門部会メンバー★

部会長：平良次子（南風原文化センター館長）

副部会長：宮城樹正（国頭村文化財保存調査委員）

部会員：仲原弘哲（村史編纂委員長）、米須邦雄（教育長）



引き続き古い写真（おおむね昭和まで）を募集しています！家に眠っている写真などあればお知らせ下さい！（※アルバムの場合は写真を剥がさずにそのまま、壁に飾られている写真などもそのままデータをとりまますので是非ご一報ください！）



謝名城（1979年）



大保（1979年）



会議の様子



屋古（1979年）



押川（1979年）



上原（1979年）

～「人と自然編」販売のお知らせ～



▲左から、専門部会長の当山昌直氏、音声表記を監修して下さった新里幸昭氏、事務局 宮城光一

令和4年3月に発刊された大宜味村史『人と自然編』の販売が決まりました！

大宜味村を取り巻く自然環境の概要の他、各字で行なった聞き取り調査で得られた、“世代を超えて引き継いできた自然の利用の知恵”を網羅しており、現代に生きる私達にとっては目からウロコの活用方法などが記載されており、読み応えのある1冊となっています。

★連絡先：大宜味村史編纂係 ☎0980-44-3009
「人と自然編」4,000円

※村史編纂係（村立図書室内）にて販売を行っておりますが、遠方で取りに来られない場合は郵送いたします（別途送料がかかります）。

「しまふとうば」ぬくとう 77



うみがーみー

ウミガメの調査を始めて今年で27年目になる。大宜味の自然環境が好きで興味があると思っ
ていた自分は、ウミガメの生態についてはほとんど知らなかった。小さいころにウミンチュが、
とってきたウミガメを浜辺で解体しているのを見た。その時に取り出されたウミガメの心臓がしばらくの間
動いているのを見てびっくりした。一度だけウミガメの肉と卵を食べた記憶があるが美味しくはなかった。

26年前の1996年のこの季節。教育委員会の文化財を担当していた自分に電話がかかってきた。現在の活
性化センター前の浜でウミガメの卵が盗まれているというので行ってみた。確かに大きな穴があったり砂が
盛り上がっていたりしていた。砂浜でウミガメの上陸・産卵痕跡を見たのはこれが初めてであった。このこ
とがきっかけで村内の砂浜を調査してみると多くの砂浜でウミガメが上陸・産卵していることがわかり、俄
然興味がわいてきた。その後は本を読んだり専門家の話を聞いたりした。産卵や孵化した子ガメが海に帰る
シーンを見たときは大きな感動がある。ウミガメについて色々なことがわかってきた。日本ではアカウミガ
メ、アオウミガメ、タイマイ、の3種類の繁殖が見られるが、大宜味村は3種の繁殖が見られる数少ない地
域である。さらに絶滅が最も危惧されるタイマイの産卵回数は本島内では飛びぬけて大宜味村が多く、さら
に3種が同じ年に産卵が確認（喜如嘉海岸）されているのも今のところ大宜味村だけである。このような人
に感動を与える生きものの営みがある身近な自然環境に感謝したい。

ウミガメは爬虫類である。前段の解体されたウミガメの心臓が動いたことと関連して、小さいころ遊びで
ヤモリやトカゲなどを捕まえたときヤモリなどは尻尾を切り離して逃げるが、残された尻尾はしばらくくね
くねして動いている。草刈り機で畑の作業中に気づかずにアカマタを二つに切ってしまった。頭部は切られ
ながらも草むらに逃げていったが、残された下部はへび類が逃げる動作のくねくねしながら、しばらくの間
動いて生きていた。

生命の不思議さを感じざるを得ない場面が度々ある。

むかしヤールーや やーまむやー（家守り）えったしが
なまややーゆぐさー（家汚さ） ういふおーらってい



オキナワクマバチ♂：ケブカハナバチ科

今月の生きもの

こんにちは。ぼくオキナワクマバチです。

真っ黒でモフモフな体と愛嬌のある顔が可愛らしいでしょ？大きさは大人の指先ほど。ぼくが飛んで来たらちょっと迫力があって怖いと思
う人もいるだろうけど、意地悪されなきゃ刺さないから大丈夫。花の蜜が大好きな大人しいハチなんです。そんな優しいぼくたちだけど、
自分のテリトリーはしっかり守るんだ。林道上などで昼間中ずっとホ
ヴァリングしながら、テリトリーを守り続ける忍耐力と持久力には
びっくりするはず。



撮影：村山望

6月の行事予定

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1日（水）（小）平和を考える月間 区長会 | 16日（木）（小）計画訪問 |
| 2日（木）（小）不審者侵入時避難訓練 | （中）平和を考える読書旬間 ～ 24日 |
| 4日（土）中体連夏季総体 ～ 5日 | 17日（金）（中）計画訪問 |
| 6日（月）（中）振替休日（6/4） | 21日（火）（小）平和集会 |
| 8日（火）（園）保育参観 | 23日（木）慰霊の日 |
| 11日（土）中体連夏季総体 | 24日（金）定例教育委員会議 |
| 12日（日）小中一斉授業参観（弁当の日） | 25日（土）地区ミニバス交歓会 ～ 26日 |
| （小）親子ふれあい | 26日（日）国頭郡サッカー大会 |
| 13日（月）（小中）振替休日（6/12） | 27日（月）（小中）夢語るウィーク ～ 7/1 |
| 15日（水）（園・給セ）計画訪問 | |

6月5日



熱気球記念日

ウミガメの産卵が始まりました。もうすぐ夏ですね。脱出日が予想できる子ガメのふ化は毎年見れるものの、ここ数年産
卵を直接見ていません。今年は何とかして見たいな。浜で張り込みしようかな…。